

開館35周年・
岡山文庫60周年
岡山文庫出版記念



新見美術館 名品展

2024年 11月30日(土) — 2025年 2月16日(日)

開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

観覧料 一般600(500)円、大学生400(350)円
中高生250(200)円、小学生150(100)円

※()内は15名以上の団体、各種割引料金
※新見市内の小中学生は「こころふれあい」バスポート提示で観覧無料
※「高梁川流域」バスポート提示の小中学生は土日・祝休日に関り観覧無料

休館日 月曜日(但し、1月13日・月・祝は開館して翌日休館)
年末年始(12月27日～1月4日)

主催 新見市・新見市教育委員会・新見美術館・ニミミュージアム

後援 岡山県、岡山県郷土文化財団、山陽新聞社、産経新聞社、
朝日新聞岡山総局、毎日新聞岡山支局、読売新聞岡山支局、
中国新聞備後本社、新見市文化連盟、吉備ケーブルテレビ、備北民報社、
新見市観光協会、新見公立大学、新見高等学校同窓会

特別協力 日本文教出版株式会社



新見美術館

〒718-0017 岡山県新見市西方361
TEL・FAX (0867)72-7851
<https://www.niimi-museum.or.jp>

小田野尚之《暮れゆく》 平成26(2014)年



開館35周年・岡山文庫60周年
岡山文庫出版記念

新見美術館 名品展

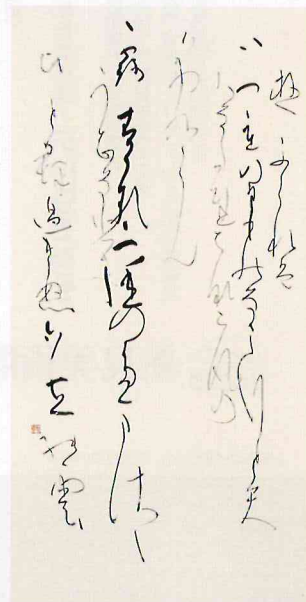
新見美術館のコレクションから優品を収録した書籍が岡山文庫（日本文芸出版）から出版されるのを記念して、展覧会を開催します。

美術館設立の経緯となった横内正弘氏の所蔵品を代表する富岡鉄斎《武陵桃源図》、日本画の近代化に寄与した東西の大家、横山大観と竹内栖鳳の描く富士。女流画家では、上村松園と伊藤小坡の描く美人画を対比します。

このほか、油絵、彫刻、陶芸、漆芸などを幅広く紹介するとともに、作品をより楽しむためのギャラリートークや美術講座を開催します。



丸木位里・丸木俊《飛天》 平成6(1994)年



高木聖鶴《哀涼》 平成12(2000)年



合田徳一郎《山家》 平成12(2000)年



藤井哲《アンデスの村で十字架のある広場》 昭和54(1979)年



山口松太《乾漆油漆堆錦香盆「採光」》 平成21(2009)年

関連行事

■ 記念講演会「岡山文庫60周年 335巻までの歩み」

日時／11月30日[土] 10:30～11:30 講師／大森悠平氏(日本文教出版営業部)

参加費 無料【観覧料が必要】 要申込 申込先着40名

■ 連続講座 参加費 無料【観覧料が必要】 要申込 講座ごとの申込が必要です。それぞれ申込先着20名

① 屏風を近くで見よう

屏風の裏側やつなぎ目はどうなっているのか、近くでご覧いただけます。

日時／12月8日[日] 13:30～14:30

講師／学芸員

② 刀剣の鑑賞と手入れ

刀剣の見どころや、簡単な手入れの仕方についてお話しします。

日時／1月12日[日] 13:30～14:30

講師／館長

③ 日本画をたのしむための話

日本画がどんな絵の具で描かれているのか、掛け軸はどう扱うのかなどをお話しします。

日時／1月19日[日] 13:30～14:30

講師／学芸員

④ 工芸をたのしむための話

展示中の作品を中心に、工芸の魅力についてお話しします。

日時／2月9日[日] 13:30～14:30

講師／学芸員

ワークショップ「雛人形をつくろう」人形の喜峯さんのキットを使って雛人形を完成させます。

日時／2月16日[日] 13:00～16:00 ※積雪などで開催を中止する場合があります。

参加費 1,200円(材料費、観覧料を含む) 要申込 申込先着10名程度

■ 「ギャラリートーク」 日時／12月15日[日] 13:30～14:00 参加費 無料【観覧料が必要】 予約不要

お申込・お問合せは新見美術館(電話 0867-72-7851またはHPの申込フォーム)まで



- JR新見駅からタクシーで約5分 徒歩で約10分(徒歩)
- 中国自動車道新見インターから約7分
- 新見美術館までの順路(→)
- 無料駐車場があります(乗用車30台・バス2台)
- 美術館の駐車場の満車の土日祝日は新見保育所をご利用ください



新見美術館

〒718-0017 岡山県新見市西方361

TEL・FAX (0867) 72-7851

https://niimi-museum.or.jp